

金山町 議会だより

第174号

平成23年 8月10日

発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会
〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393

☎ 0241-54-5341



プールでおおはしゃぎの子どもたち（7月25日・川口保育所）

〔6月定例会のあらまし 会期／6月17日～21日〕

（ページ）

6月定例会、及び臨時会	2～4
一般質問に5名登壇	5～9
議会の動き（特別委員会活動、その他）	10～11

一般会計補正予算 賛成5：反対4で可決

国保税条例など7議案可決

今定例会では、国民健康保険税条例の一部改正、一般会計・特別会計の補正予算など7議案を可決しました。また人権擁護委員の候補者3名の推薦に同意しました。

一般質問には5人が質問に立ち、町政をたどしました。

議案審議

国保税条例の改正 被保険者の負担増

問 税条例の改正で、一世帯当たり7694円の増となり、被保険者負担が非常に大きくなるが、税率アップの要因は何か。被保険者の負担増は滞

答 税率アップは、平成21～22年度にかけて高額

納者も多くなることや、収納率低下の心配もある。この悪循環を断ち切る方法が必要ではないか。それに、緊急時に使うための基金の取り崩しの状況を伺う。

また、国保運営協議会の意見はどうだったのか伺う。

の医療費を必要とする疾患が増え、医療費が約7%の伸びとなったことが主な要因です。

滞納額は22・23年度分とも、今以上増えないよう努力していきたいと考えています。基金の約8000万円のうち、今回の補正で約2000万円を取り崩す内容ですが、ある程度の基金残高を確保していく必要があり、税と併せた検討が必要と考えています。

国保運営協議会からは、住民生活の非常に厳しい状況ではあるが、平成22年度の決算見込みや国保会計の繰越金、あるいは23年度の医療費の予測から、国保税率のアップである程度対応しなければならぬという意見もいただいています。

金山小体育館周辺整備 工事費の内容を問う

問 金山小体育館周辺整備に270万円計上されているが、その事業内容を伺う。

答 金山小学校体育館は

今年3月に完成した金山小体育館



今年3月に完成しました。トイレは、川口地区の下水道が平成25年に完成する状況から、25年度になぎ込んで供用を開始する計画で進めてきたところです。

しかし、その後大震災が発生し、災害時の避難場所の必要性、あるいは児童や利用者に不便をかけるということから、今回簡易の便槽を設置し、そこに流し込んで汲み取る工事を実施する内容です。

問 当初体育館を作る時、トイレ・便槽工事は入っていたのか。今回は汲み取りの予算だが、25年度の下水道完成時に予算を組んで膨大な金をかけつ

なぎ込み工事をするのか、あるいは汲み取りのまましていくのか伺う。

答 建築当初から、25年度供用開始の配管のみの工事で、便槽と浄化槽工事は含まれません。経済性・効率性の観点から、当初の整備は行わず、25年度に下水道に流し込む形で進めてきました。また、25年度は簡易便槽の撤去費用も必要となります。

6月定例会 賛否の状況

議案名	賛成	反対
国民健康保険税条例の一部改正	8	1
一般会計補正予算	5	4
国民健康保険特別会計補正予算	7	2
簡易水道・町営バス・介護保険・後期高齢者医療の特別会計補正予算	9	0

平成23年
第6回定例会
6月17～21日

6月定例会

6月定例会補正予算の主な内容（歳出のみ）

単位：万円

	補正予算の事業内容	金額
1	河川改修の測量設計委託及び工事請負費	700
2	農業用用水路・農道等施設改良工事請負費	400
3	妖精の里商品券発行事業補助金	380
4	金山小学校体育館周辺整備工事請負費	270
5	野ネズミ駆除薬剤購入等経費	125

農業振興プロジェクト 役立つデータを

問 豚の飼育は、いつから始まり、いつまでやって、何頭を飼育するのか。金山町外で飼うとのことだが、当町と条件の違う所で放牧し、役立つデータが得られるのか。

答 今年、県の農業総合センターで豚5頭により実験を行います。豚の放牧試験は、将来の畑作に向けた肥料の研究の為に行うものです。必要な肥料を、豚の糞尿を利用しただけ減らせるか、また効果があるかを検証するためのものです。放牧条件は、当町とそれほどの差はないと思っています。

妖精の里商品券補助 取扱店増加見込みは

問 妖精の里商品券について10%のプレミアムを20%にして、8月から取り扱うというが、補助金額はいくらになるか。

河川改修に700万円 振興計画との関連性は

問 河川改修に700万円計上されている。

答 昨年、振興計画審議会関係で十何回もの会議を開催し、12月には町長に第4次振興計画について答申している。振興計画には平成23年度450万円しか計上されていないにも拘らず、今回700万円の計上だが、振興計画、実施計画はあってもなくてもいいのか何う。

答 第4次振興計画を長期にわたり審議頂き、答



8月から取扱いの
始まった妖精の里
商品券

り扱うというが、補助金額はいくらになるか。

また、各商店において手数料の負担があるため取り扱わなかったということもあったが、今回

申をいただいたことに感謝申し上げ、これに則って第一歩を進めると考えています。

今回の河川工事については一部災害復旧的な要素の事業ということで予算計上したものです。振興計画審議会を通さずに計上したことは深く反省し、今後十分注意すると共に、深くお詫び申し上げます。

反対討論

振興計画審議会は町長の諮問機関として、昨年

請願

次の件は採択されました。

●子どもたちに長期的な健康モニタリングと定期的な健康診断の実施を求める意見書提出方の請願（福島県教職員組合、同両沼支部）

子どもたちに対するスクリーニング検査及び甲状腺検査を中心とした長期的な健康モニタリングと定期的な健康診断を、国及び東京電力の責任において無償で実施することを求める意見書を関係機関に提出しました。

20回以上の諸会議を持ち町長に答申したにも関わらず、この6月定例会の予算は振興計画等々に準

じていない。振興計画審議会会長として不服であり、反対意見を申し上げます。

答 商品券の当初発行予定は2000万円分でしたが、今回地域経済の活

の施策により取り扱い加入商店の増加は見込めるのか何う。

性化のため1000万円分増やし3000万円とするものです。また、プレミアムも10%から20%とするための補正です。商工会への補助金額は、当初予算額に今回の380万円が増額となり、合計520万円となります。20%のプレミアムがつくこととなりますので、参加商店が増え、かつ効果が出るよう取組みたいと考えています。

議案審議 (一般会計以外)

株奥会津金山大自然 今後の計画を問う

問 奥会津金山大自然の第1期決算報告書で、105万7914円の損失金が発生している。平成23年度以降、育苗やライスセンターの事業において農家の負担が増えてくるようでは困る。来年度の事業の中でどのように解消する相談がなされたか伺う。

答 赤字の原因は稲作の高温障害による品質低下と収量不足によるもので、水管理等の反省を踏まえ、

簡易水道、本管からの故障の対応は町で

問 現在、簡易水道の本管から各家庭に引き込む分の故障した場合は、受益者の負担で修繕をしている状態である。しかし、老人世帯で冬期間留守にするなどで止水栓開閉時の故障も度々発生し、負

収量の上がる稲作管理に取り組んでいます。それと併せ、ミニトマト部門での収益が上がるような体制を構築する考えです。また、国・県の補助制度の活用、新規事業の取組等により損失が減るよう取り組んでいるところで

問 補助金を受けながら始めた法人であり、第1



旧横田中学校に本拠地を置く「株奥会津金山大自然」のビニールハウス

担も大きい。止水栓の故障やメーター器までの不具合が生じた場合、町で対応する考えはないか伺う。

答 止水栓は本管からの引き込み地点につけてありますが、止水栓を管理する器具は各家庭にはなく、開閉は業者に依頼するしかない状況もあります。

期からの赤字について役員報酬の中でプラスマイナスゼロにしようという考えは出なかったのか伺う。

答 取締役会としても、役員報酬は1カ月分の減額ということで決算されています。資材購入等においても経費節減を図り、更に経営改善に取り組んでいる状況です。

5月25日・臨時会

緊急雇用創出基金事業に

2231万円

第5回臨時会は、震災対策に関わる緊急雇用創出基金事業(2231万円)を含む平成23年度一般会計補正予算を、賛成8、反対1で可決しました。その他、専決処分の承認、財産の取得(かねやまネットテレビ放送設備予備機器購入)については、全員賛成で可決しました。

答 沼沢・太郎布地区を対象に地域活性化のため

問 緊急雇用創出基金事業で実施する「沼沢湖周辺耕作放棄地解消美化事業」は単年度で終わる事業か。次年度以降も引き続き行う方向を考えています。

す。当町では老人世帯等が多く管理できない現状もありますので、本管からメーターまでは町で管理して行く方向を考えています。内部協議を重ねたうえで考え方を上下水道委員会等に提案し、十分論議していきたいと思っています。

耕作放棄地解消美化 継続した取組を



沼沢湖周辺の耕作放棄地解消美化事業の予定地の一部(沼沢集会所から湖にかけての区域)

7月13日・臨時会

金山町農業委員会委員に

2人を推薦

7月13日に開催された臨時議会において、議会推薦による金山町農業委員会委員について、議会推薦の人数を2人とし、渡部勇吉氏(上天牧・70歳)五十島文榮氏(沼沢・

のワークショップ(体験型の講座)を立ち上げました。5・5haを目標に景観形成を行うもので、この事業を契機に地区の活性化の機運を盛り上げ、継続した取り組みとした考えです。

62歳)の2人を推薦することに決定しました。その他、専決処分に関する承認など3議案が提出され、全議案を全員賛成で可決しました。



ダムの多い金山町（上田ダム）



高橋信彦議員の

一般質問

『町の地域防災計画は万全か』

現在、町防災計画の見直し中―町長

問

3月11日に発生した「東日本大震災」は甚大な被害を与え、今尚、復旧の目途さえつかない状況である。当町でも直接的な被害は少なかったものの、放射能汚染の風評被害と言う形で多大な被害を受けている。「災害は忘れた頃にやってくる」まさにその言葉通りであるが、当町の防災計画について質問する。

①どのような災害を想定し、防災計画を作成しているのか。

②想定される災害の規模は。

③避難路の確保、避難場所について町民に周知徹底されているのか。

④食糧の備蓄、復旧機材等の備蓄はどうか。

⑤年数経過による環境の変化に対し、計画の見直しはされているのか。

⑥初動体制、停電時の電気や燃料の確保はどうか。

答 町長

①町の防災計画は一般対策編と地震対策編の二つがあります。

一般対策編では、風水害、火災、土砂災害、雪害、及び農林業災害を想定しています。また、地震対策編では、震度7の地震、そしてこれに相当する火災、土砂災害、雪害、農林業災害を想定しています。

②一般対策編のうち風水害、雪害、農林業災害では昭和44年の豪雨災害、雪害では昭和48、49年の豪雪を想定しています。火災については普通より大規模ものを念頭に置くが具体的な戸数等は記述してありません。

また、地震対策編では震度7の想定です。

③避難路について、防

災計画上では指定されたものではありません。津波の場合は避難路の指定や整備は効果的ですが、水害、土砂災害、雪害等の場合は指定した避難路が危険となる場合もあります。避難途中で犠牲になる事例も多く、当町の地形、そして立地条件を考慮すると非常に難しい問題です。

避難場所も同様で、指定した集会所や公共施設が危険ともなり得ますので、状況に応じては、災害時に随時指定の変更を行うことにしています。

④食糧備蓄は現在ありません。人口規模から大規模な備蓄は必要がないと考えています。また、機材等も特になく、今後発電機等の整備を検討していきます。

⑤現在、町の防災計画は見直し中で、本年度中

にも新計画を策定したいと考えています。

答 総務課長

⑤次期防

災計画は、町内のダム災害の部分についても想定し、河川管理者やダム管理者と協議を行い、適切な計画作りをしたい考えです。協議の時間も必要で、今年度中には間に合わないこともあるかも知れませんが、いずれ早急に見直していきたいと思っています。

⑥災害時の初動体制として、災害時にすぐ動けるよう自主防災力の向上に向けた啓蒙をしながら、災害から身を守るよう対応していきたいと思っています。

また、冬期の燃料の確保は重要で、町内各業者と連携をとり支障のないようにと考えています。



安全が確認され使用されている学校プール
(金山小学校プール)

青柳靖美議員の

一般質問



『東日本大震災（原発震災）対策を』

国の代替エネルギーの技術革新に期待するー町長

問 大震災から3カ月。

金山町では風評被害や放射能汚染による健康への心配が大きい。現状と対策を伺う。①実質・風評被害、避難住民の受け入れ、ボランティア組織などの現状と対策は。②国のエネルギー政策に対する認識と今後の行動計画は。③小・中学生向けの教科書（副読本）で原発は安全としてきたが、副読本採用の有無と今後の取り扱い。④環境放射

線モニタリングの現状、平常値、ホットスポットの有無は。⑤学校プールや沼沢湖などの水質検査と結果公表は。安全性は確保できるか。⑥町民に「被曝健康手帳」を交付し、健康管理する考えは。⑦大震災後の防災計画の見直しは。

答 町長

①山菜等で一部の出荷停止、風評被害として当町旅館・民宿の宿泊客の激減、町内飲食

店への影響等があります。避難民は現在、二次避難で旅館に滞在されている方を含め27名です。ボランティア組織は、現在町内4グループが活動しています。

原発被害は風評も含め第一義的には東京電力が全て対応すべき問題ですが、JAや商工会と連携し、町民への情報提供やアドバイスを適切に届くよう努めたい考えです。

②現在の国のエネルギー基本計画では原子力発電を積極的に推進するものですが、この計画の見直しで中長期的には原子力は廃止すべきと考えています。代替エネルギーの技術革新に期待し、太陽光発電等国の強力な技術開発と、省エネルギーの加速化が必要と考えます。

③当町では、質問の副読本は使用していません。④県は3月20日から毎日役場前で空中放射線量を測定し、町も県から貸与の空中放射線測定器で町内各地を測定していますが、全域的に大きな差はありません。⑤町内小学校プールの水質検査では放射線の検出はなく、プールの利用を始めています。沼沢湖は県の調査結果により対応したいと考えています。⑥県の県民健康管理調査と共に、町民の健康管理を行っていく考えです。⑦地域防災計画は、現在見直し中です。

『生活道路「赤道」の舗装促進を』

赤道管理は基本的に各区長にお願いしているー町長

問 町道等生活道路の舗装整備が進んでいない。

高齢化が進む中、砂利道は非常に危険。緊急車が進入できない狭い道路は、防災、医療の面から問題だ。集落内生活道路の未舗装地区の現状と整備方針を伺う。①各区長から

整備要望のある「赤道」の未舗装件数と整備方針は。②八町地区神社線、本名地区「赤道」のその後は。③越川下飛泥地内町道の舗装整備年次は。

答 町長

①町内の「赤道」は舗装されている件

数は少なく、未舗装の件数は把握し切れない実態です。赤道の管理は基本的には各区長にお願いし、舗装等要望の際は原材料を支給し、整備を図ってきたところです。第4次金山町振興計画に町道整備費と共に、赤道の整備

費も新規に計上しています。②八町地区は現地調査し、検討します。また、本名地区は現在区長と協議中です。③越川地区も赤道で、整備方針により検討したいと思っています。



新たな町営住宅の基本構想づくりが始まった
(上横田地区の町営住宅)



長谷川菊夫議員の

一般質問

『町営住宅建設でUターン、定住促進に』

町営住宅建設の基本構想樹立に着手している―町長

問 金山町内で働き、住所は三島町や会津若松市等、他町村からの通勤者が数多く見られる。空き家はあっても賃借契約には至らない。若者は集合住宅を望み、縛りのある

補助金絡みではない、町独自の町営住宅建設の考えはないか。特別養護老人ホーム計画等、若者の雇用増が考えられる。Uターン、定住に結び付けるべきと思うが、方針を

町内から通勤するためにどの場所が適当か。集合住宅がいいのか一戸建てがいいのか、など様々な面から定住に結び付けるための検討を行い、建設計画を具体化する考え

同う。

答 町長 町営住宅建設の基本構想を樹立するため、その作業に着手したところ。若者はどんな住宅を望んでいるか。

町内から通勤するためにどの場所が適当か。集合住宅がいいのか一戸建てがいいのか、など様々な面から定住に結び付けるための検討を行い、建設計画を具体化する考え

また、特別養護老人ホームの建設計画もあり、その点も含めて計画したいと思っています。

『道の駅かねやま』、土地購入等の進行状況を問う』

地権者全員の了解を得、今後農地転用許可申請―町長

問 「道の駅かねやま」の土地購入に関し、中川の関係地主の方々への契約や土地代金の支払いはいつ頃になるのか。土地買い上げの議決はされているが、どのような進め方をしているのか伺う。

また、各種手続きの工程について伺う。

答 町長 「道の駅かねやま」にかかる事業用地の個別交渉は終了し、地

権者全員の了解を得たところ。今後、農地転用の許可申請を行い、許可がおり次第、契約の事務を進める工程となります。

従って、契約事務、登記事務が終了次第、用地代を支払う予定です。

答 建設課長 農地転用の許可申請ですが、6月23日に開催される農業委員会に提案する予定です。

長谷川菊夫議員からはこの他に「川口地区の特定環境保全公共下水道事業の進行状況」の質問がありました。



㈱奥会津金山大自然が新たに組み
組んでいるミニトマトの養液栽培

馬場清次議員の

一般質問



『原発事故の風評被害、町の対応と対策を示せ』

風評被害払拭のPR活動に取り組む―町長

問

大地震に伴う原発事故は、三カ月を過ぎてもいつ収束するか全くわからない状態で、発生した事故に伴う放射能汚染の風評被害、県内全域がその影響を受け、大変な状況が続いている。原発の地から百キロ以上離れたわが町も、例外なく被害を受けている。例年だと田植えも終わり、秋の豊

作を待つ時期、今年度は全く様相が一変。米は売れるのか、農産物は販売できるのか心配される。観光産業の方々の被害も同様に、深刻な状況である。被害の実態と、対応・対策について伺う。

①山菜を含め、農作物への影響と被害の実態はどうか。その対応、対策について。

②商工・観光関連業への影響と、被害の実態はどうか。その対応・対策について。

③「奥会津金山大自然」の経営に対する影響も懸念されるが、今年度のミニトマトの収穫量、販売金額の見込みを伺う。

答 町長

原発事故の収束が今だ見えない状況の中、当町は原発から130キロも離れ、大気中の放射線量もたいへん低い状況ではあるものの、多大な影響が出ていることを危惧しています。

①3月21日、国の原子力災害対策本部からホウレンソウなど野菜類の出荷・摂取を制限する指示が出ました。当町では、非結球性葉菜類に含まれるフキノトウの出荷・摂取制限のため、春の山菜採りのシーズンに影響が

出ました。フキノトウのまま、あるいは加工して販売する人達に多大の影響がありました。また、出荷制限されなかったコゴミ等山菜類やエゴマ油などは、消費者の買い控えの影響が出ています。

現在、会津地方においては出荷や摂取の制限を受けている農作物はありません。町は今後も、福島県やJＡと一緒に農作物のモニタリング調査を実施し、安全・安心の農作物を確認していきます。また、風評被害払拭のためのPR活動についても、関係団体と協力し取り組んでいきます。

②今回の大震災や原発事故による商工観光関連団体に対しては、甚大な影響が出ています。大震災直後のガソリン等の物資不足による影響、自粛ムードによる旅行や宴会

等のキャンセル。そして追い打ちをかけるように原発事故に伴う風評被害による宿泊等のキャンセルが発生しました。町内では1000万円を超える被害が出ています。

町は、町内の消費活動の活発化のため、商工会が実施する商品券発行事業への助成額のアップ、また、安全・安心のPR活動を、関係団体と協力し積極的に取り組んでいく考えです。

答 産業課長

③初年度である今年の生産目標は、収穫量10トン、販売金額400万円を見込んでいます。「㈱奥会津金山大自然」では、ミニトマトは稲作に加え一つの大きな柱であり、風評被害によって売れないことのないよう、町も積極的に対策に取り組む考えです。



オートキャンプ場28区画を含む沼沢湖畔のキャンプ場



奥 高伸議員の

一般質問

『どう進める安全安心の町づくり』

改めて、関係機関にダムの安全確保の徹底を要望―町長

問

安全・安心の町づくりについて私は今まで再三質問してきた。しかし町長は「安全だ、危険だとは認識していない」と答弁するも、その安全だと判断出来る説明や資料の提示もされていない。

3月11日に起った東日本大震災以来、町民は安全・安心についてより一層敏

感になっている。町民が安心だと思えるような答弁を望む。①大岐貯水池ダムをはじめ只見川水系の発電用ダムの安全性の認識は。②集中豪雨等による土砂崩落事故の危険性への認識と対策は。

答

町長 水力発電所ダムの設計は河川法、電気

事業法に基づき安全基準を満たす設計とされていて、適切な管理により半永久的に使用可能と認識しています。しかし、今回の震災により改めて安全確保を徹底されるよう、関係機関に要望を強めているところです。

②県との協力のもと、町内の土砂災害の恐れ

ある地域を指定し、住民への啓蒙を図っています。しかし、当町の地形的条件を踏まえ指定したから安全ということではなく、

住民に土砂崩落の危険性を理解して頂き、初期的な対応が即座に出来る事が肝要と思っています。そのため、県、区長、それに消防団との連携が一

答

副町長 大岐貯水池に関し、町で持っている資料は平面図と断面図のみです。現段階で安全の根拠はないため、早急に調査をします。

『観光地沼沢の振興策を示せ』

中・長期的視点で、観光地沼沢の振興を図る―町長

問

常々町は産業振興策の一つに観光振興を上げている。また、その中心は沼沢湖を中心とした地域であると述べている。しかし近年の町の観光行政、施策は沼沢湖周辺に向いているとは思えない。今後の沼沢湖エリアの観光地域振興策を伺う。①妖精美術館の今後のビジョンを示せ。②自然休養村

センター、キャンプ場、公園等の整備計画は。③ヒメマス養魚の振興策は。

④惣山・前山を含めた周辺の整備計画は。⑤過疎の進む沼沢地区の環境整備策は。

答

町長 沼沢湖周辺の施設整備、環境整備は、財政状況を勘案しつつ維持補修を続けます。①妖

精を感じて頂ける作品展示を心掛けます。今年の企画展は、創作人形作家の若月まり子氏の作品を展示します。財政面を考慮し作品の充実を検討します。②近年、サイクリングロード全面改修、オー

トキャンプ場の地盤改修を実施し、荒浜公園では地元の応援を得て環境整備を図りました。今後も、

利用者に魅力ある整備に心掛けます。③ヒメマス養魚の考えは現在ありません。④倒木処理や新たな案内板を設置するなど、

現在の登山道を維持管理します。⑤今年は耕作放棄地解消美化事業を通じ、環境整備を図っていきます。中・長期的視点に立ち、観光地沼沢の振興を図る考えです。

町長に要望書提出

道の駅建設調査・研究特別委員会中間活動報告

現在、仮称「道の駅・かねやま」と仮称「尾瀬街道・横田宿」の建設事業が進められています。

昨年12月21日に特別委員会を設置し、産業振興と併せ交流を促進するための施設となるよう、議会として調査研究を行ってきました。

長期的な観点で繁栄できるよう、7回にわたる



3月11日に開催された特別委員会には傍聴者も有り。

「道の駅・かねやま」及び「尾瀬街道・横田宿」の整備に關しての要望書

1、「道の駅・かねやま」について

①道の駅は将来をのぞみ、繁栄させる視点で整備を進めて頂きたい。

②発展的な物産館、温泉入浴施設、歴史資料展示施設等の整備を視野に

いれグランドデザイン（全体構想）を作成し、二期、三期の整備を進めて頂きたい。当面、第一期として平成24年度のオー

プンに間に合わせるものとする。

③道の駅としての認可を受けるため町で整備する新たな建築物は、情報発信施設のみとして頂きたい。

物産販売と食の提供は、現在のこぶし館を利用す

ることによぶさかではないが、利活用の際に法整備はしっかりと確立すること。

④こぶし館の空調、浄化槽、外壁等は修繕するとしても、それ以外の大きな改修は行わないで頂きたい。

⑤冬季間の除雪は、除雪機械や融雪設備により万全を図って頂きたい。

⑥道の駅の運営に当たる人の考えを盛り込みつつ、整備計画を進めて頂きたい。

2、「尾瀬街道・横田宿」について

①地元との協議を十分行い、整備をして頂きたい。

②地元との協議を十分行い、整備をして頂きたい。

議会広報は読者の立場で

町村議会広報研修会が、6月29日、福島市のグリーンパレスで開催され、議会だより編集委員が参加しました。

講師は全国町村議会広報コンクール審査委員の城市創先生です。議会広報づくりで一番大切なことは「何故これを作るか」ということを念頭に、読者の立場で作ることである、と

福島市で行われた町村議会広報研修会



とで、学んできました。

「議員年金制度」が廃止

地方議会議員の年金制度は、昭和37年に創設されました。以後、平成の大合併が規模に進んだことや、行政改革に伴う議員数や議員報酬の削減により、年金の財政状況が急速に悪化しました。種々検討された結果、平成23年6月に地方議会議員年金制度は廃止となり

ました。現職議員在職12年以上の場合は年金給付か一時金（自分の掛けた金額の80%支給）を選択できます。12年未満の場合は、自分の掛けた金額の80%が支給されます。また、既に退職年金や遺族年金を受給されている方は、今まで通り支給されます。

一般質問 追跡調査 (第1回)

⇒あの質問はどうなった

「若者定住のための町営住宅新築を」
を取り上げます

平成22年6月一般質問から

Q

若者定住のためには、振興計画の前半に、町営住宅の新築構想が必要ではないか。

A

次期振興計画の前期基本計画（平成23～27年度）に盛り込み、住宅需要の推移を考慮し、計画的に整備を進めます。

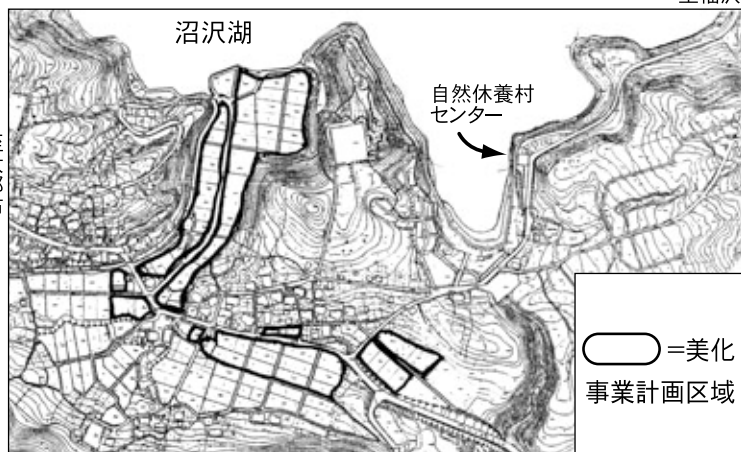
その後の対応

平成23年度に、町営住宅整備の基本計画を策定するため、300万円の予算を計上しました。

計画づくりにおいては、若者定住促進懇談会等にも議論いただき、若者のニーズを考慮し具体化していくとしています。

至福沢

至太郎布



沼沢湖周辺耕作放棄地解消美化事業計画区域図

至早戸

6月9日

総務文教常任委員会の管内視察

6月9日、総務文教常任委員会の管内視察を実施しました。

来年の5月頃には花を咲かせ、それ以降は菜の花とひまわりによる交互の植栽を想定しています。

①沼沢湖周辺耕作放棄地解消美化事業の現場を視察しました。沼沢の集会所から湖までの区域、及び県道沿いの遊休農地約5・5ヘクタールに菜の花の種を播く計画です。

②県立川口高等学校の習熟度学習、及び寄宿舎の現状を視察しました。英語と数学に関しての、全ての学年で一人ひとりの学習の進む具合に応じた習熟度別学習を視察させて頂きました。

また、寄宿舎の中の食堂、浴室、部屋等を案内して頂き、生徒の寄宿舎生活の一片を知ることができました。現在の寮生は21名です。出身地別では会津若松市15名、喜多方市3名、猪苗代2名、千葉市1名という状況でした。



川口高等学校寄宿舎内の食堂



「災害から学ぶ」

今回の大震災は、日本はもとより世界中に大きな影響を与えました。特に防災のあり方については、想定する被害規模と対応策、それに要する費用など、今までと違う発想の転換が求められているのではないのでしょうか。世界一の防波堤が一瞬にして瓦礫に変身する様は、自然の猛威を人間に見せつけました。災害に備える対策は当然必要な事です、**「防ぐよりも逃げる事」の有効性、「生き延びた命を支える事」の必要性を学んだように思います。**

当町のような山岳地形では、地震や風水害での土砂崩れが発生し、通行不能による孤立が懸念されます。電気・燃料・医薬品等の備えが必要です。

最も効果的な方法は、「各個人の防災意識の高揚」であり、繰り返しの防災訓練や、防災知識の周知徹底が、災害に強い町づくりの基本になります。去る6月26日、本名地区で行われた防災訓練には、雨の中にもかかわらず、多くの住民に参加をいただきました。より実践的な訓練を経験する事で、万が一の際に命を守ることが出来ると確信しています。

震災から学んだものももう一つ。外国のメディアで報道されたものの中に、「困難の中にあっても略奪行為もなく、整然と順番を待つ日本人」の姿。「私よりもっと困っている人が居る・・・」日本人独特の美意識が、戦後の経済成長の波の中に飲み込まれ、失いかけたものの、今回の困難に遭遇し、復活しつつあるように私は思える。

「もったいない」外国人女性によって逆輸入された日本語や、「おもてなし」を輸出した老舗旅館。膨大な債務を抱える日本でありながら、震災後も円相場や株価、そして格付けがあまり下がらないのは、各国の思惑に加え、日本人の「美意識」に期待をしているからかもしれない。

期待されている間に復興を果たし、「美しい日本」を再生したいものです。

(高橋信彦)

表彰

県町村議会議長会から

二名が受賞

このたび、福島県町村議会議長会から、渡部菊男議員、長谷川菊夫議員が、功労者として表彰されました。

これは、議会議員として十一年以上、地方自治の振興発展に尽力されてきた功績によるものです。6月定例会において、表彰状の伝達が行われました。



表彰の伝達を受ける
右から、渡部議員、長谷川議員

ごあんない

次回の定例会は、9月9日ごろ開会の予定です。
一般質問は9月12日ごろとなります。
お気軽に傍聴においで下さい。

- 役場一階の受付で「傍聴券」を受け取り、4階の議場においで下さい。

〔発行責任者〕

議長 長谷川盛雄

〔編集委員〕

委員長 渡部 菊男

副委員長 奥 高伸

委員 高橋 信彦

委員 渡部 尚

委員 青柳 靖美

〃 〃

次号、金山町議会だより第百七十五号は、十一月上旬ごろ発行の予定です。